

HaTeLa

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 IP
(インスタントフィルム用定着液)

会社名 株式会社 阪神技術研究所

住 所 〒662-0927 兵庫県西宮市久保町4-18

担当部門 販売チーム 作成部門 QAチーム

電話番号 0798-33-6321 FAX番号 0798-33-6069

作成/改訂 2016.05.02 GHS対応(1版)

2. 危険有害性の要約

GHS分類 ※全ての項目で区分外、分類対象外、分類できない

GHSラベル要素

絵表示 なし
注意喚起語 なし

3. 組成及び成分情報

<原則として1%以上含有する成分を記載しています。>

単一製品・混合物の区別 : 混合物

| 成分名称 | 含有量 (wt%) | CAS No. | 化審法番号 |
|------------|-----------|-----------|-------|
| 水 | >60 | 7732-18-5 | — |
| チオ硫酸ナトリウム | <20 | 7772-98-7 | 1-503 |
| チオ硫酸アンモニウム | <10 | 7783-18-8 | 1-405 |
| 無水亜硫酸ナトリウム | <10 | 7757-83-7 | 1-502 |

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸し易い姿勢で休息させること。必要に応じて医師の診察及び手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと、皮膚を多量のシャワー水と石鹸で十分に洗い流すこと。
皮膚刺激や症状がある場合は医師の診察及び手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。医師の診察及び手当てを受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせず直ちに口の中を十分にすすぎ、医師の診察及び手当てを受けること。
暴露又は暴露の懸念がある場合直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は不燃性水溶液であり、燃焼しないため、周囲の火災に応じて適切な消火剤を選択する。

使ってはならない消火剤

この製品自体は不燃性水溶液であり、燃焼しないため、周囲の火災に応じて適切な消火剤を選択する。

特有の消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能なものは、容器及び周辺に散水して冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業は状況に応じて適切な保護具を着用し、風上から行なう。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には必ず保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏出物を回収すること。漏洩した液が河川、下水等に排出されないようにする。

封じ込め及び浄化の方法・機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸着させて、密閉できる空き容器に回収する。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

人によっては、長時間繰り返し接触することによって、かぶれる場合があるので注意する。作業の際は必要に応じて適切な保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

他の化学薬品との接触を避ける。出来るだけ風上から取り扱い、作業後は手や顔など身体を洗浄する。

保管

安全な保管条件

適切な換気のある高温多湿を避けた冷暗所で、密閉性を維持して保管する。施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

保管の際は他の容器に移し替えず、製品の容器で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 設定なし

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて有機ガス用保護マスクを着用する。

手の保護具

不浸透性の手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣を着用する。汚染された作業衣を再使用するときは洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

| | |
|-----|---------|
| 形状 | 液体 |
| 色 | 無色透明 |
| 臭い | 微臭 |
| PH | 6.5~7.5 |
| 沸点 | 111℃ |
| 引火点 | データなし |

燃焼範囲 上限・下限 データなし

| | |
|--------|-------------|
| 蒸気圧 | データなし |
| 比重 | 1.280~1.284 |
| 自然発火温度 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------|
| 反応性 | ヨウ素と定量的に反応する。 |
| 安定性 | 通常の使用条件下では安定。 |
| 避けるべき条件 | 凍結・直射日光を避ける。 |
| 混触危険物質 | 強アルカリ |
| 危険有害な分解生成物 | データなし |

11. 有害性情報

※製品としての試験データが無いため、それぞれの成分について記載する。(記載の無い項目はデータなし)

・チオ硫酸ナトリウム

| | |
|------------------|------------------------------------|
| 急性毒性 | 経口 ラット LD ₅₀ >5000mg/kg |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 刺激性は低い |
| 眼に対する重篤な損傷性又は刺激性 | 刺激性は低い |
| 発がん性 | IARC、ACGIH、NTP、EPAに記載はない。 |
| 生殖毒性 | データなし |

・チオ硫酸アンモニウム

| | |
|------|--|
| 急性毒性 | 経口 LD ₅₀ ラット 2890mg/kg マウス 2100mg/kg モルモット 2100mg/kg 吸入 粉じんミスト LC ラット >2260mg/m ³ 4H マウス >1800mg/m ³ |
|------|--|

・無水亜硫酸ナトリウム

| | |
|------|---|
| 急性毒性 | 経皮 LD ₅₀ ラット:115mg/kg ウサギ:65mg/kg マウス:130mg/kg RTECS |
|------|---|

12. 環境影響情報

| | |
|---------|------|
| 生態毒性 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生態蓄積性 | 情報なし |
| 土壤中の移動性 | 情報なし |
| オゾン層有害性 | 情報なし |

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の際は「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等の法令を遵守し、都道府県等の許可を受けた廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器・包装

廃棄の際は「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」等の法令を遵守し、都道府県等の許可を受けた廃棄物処理業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

- ・容器に漏れや破損等の無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。
- ・容器が破損しないように水濡れや乱暴な取り扱いをさけること。

15. 適用法令

※含有物質毎に記載

・チオ硫酸ナトリウム

適用法令なし

・チオ硫酸アンモニウム

適用法令なし

・無水亜硫酸ナトリウム

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項

水道法

有害物質

16. その他

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。注意事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。
